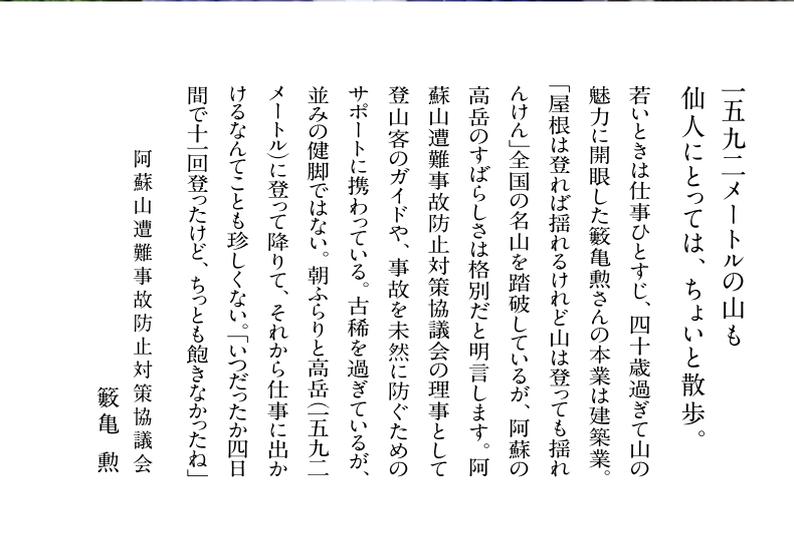




阿蘇神社警護団 吉田満範

朝に晩に見ている神社に、敬意をもって奉仕する。

肥後国一の宮・阿蘇神社の無事安寧を見守る警護団の団長である吉田満範さん。正月からはじまって、季節の祭事ともなれば、人びとの福を呼ぶ儀式が滞りなく進行するため、神社の警護に立ちます。ふだんは農事にいそしむ。米をつくり、山野草を育て、庭師としても腕をふるう。早春に繰り広げられる火振り神事では、先頭に立って火のついた茅の松明を打ち振る。「阿蘇神社は朝に晩に目にしており、やはり特別の思いがあります」狭義の信仰というよりも愛情に近いもの。だから奉仕する。穏やかな表情が、警帽をかぶると「転してサライ」の風情に。



一五九二メートルの山も仙人にとつては、ちよいと散歩。

若いときは仕事ひとすじ、四十歳過ぎて山の魅力に開眼した藪亀勲さんの本業は建築業。「屋根は登れば揺れるけれど山は登っても揺れんけん」全国の名山を踏破しているが、阿蘇の高岳のすばらしさは格別だと明言します。阿蘇山遭難事故防止対策協議会の理事として登山客のガイドや、事故を未然に防ぐためのサポートに携わっている。古稀を過ぎているが、並みの健脚ではない。朝ふらりと高岳（一五九二メートル）に登って降りて、それから仕事に出かけるなんてことも珍しくない。「いつだったか四日間で十二回登ったけど、ちっとも飽きなかったね」

阿蘇山遭難事故防止対策協議会 藪亀 勲



中江岩戸神楽保存会 佐藤義勝

親子三代、天下泰平を祝い、華麗に舞う。

イザナギ、イザナミの神が海をかきまわし、その雲から島ができた。イザナギが火の神を斬り殺すと、飛散した血から生まれたのは四体の神。天照大神は人間界が乱れていると聞き……という、古事記や日本書紀の「国生み」に関する神話であり、壮大な叙事詩が中江岩戸神楽の台本です。この国指定の選択無形民俗文化財を伝えるのは、佐藤義勝さんが会長を務める中江岩戸神楽保存会。父から見よう見まねで教わった舞い、いまは息子が受け継ぎ、さらに「おれ、じいちゃんのようになる！」うれしいことを言ってくれたのは孫の大地君だ。立ち姿も凛々しい。

火の国阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
Aso City

阿蘇の自然を舞台に繰り広げている人びとの営みこそ大きな訴求力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「火の国阿蘇の恵みのブランド-然」。現在、この活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しており、このページでも順次ご紹介いたします。ご期待ください。

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局
(阿蘇市観光まちづくり課)
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com



CONTENTS もくじ

- 04 **特集** 阿蘇市の財政事情～平成25年度決算報告～
- 08 保育園・認定こども園等入園手続きのご案内
- 10 まちの話題
- 14 田空わがまち自慢 ▶ 山田・小池地区
- 16 市役所からのお知らせ
 - ▶ 差押動産公売会
 - ▶ 公用車公売
- 18 暮らしの情報
- 22 人権作文 ▶ 佐藤 大地さん
- 23 大事にしたい、懐かしい阿蘇の生活 No.32
- 24 自慢の学校 ▶ 波野小学校
- 25 選挙前に知っておくべき2つのこと
- 26 図書館へ行こう！
 - ▶ 第10回図書館まつり
- 27 やまなみハイウェイ開通50周年記念イベント
 - ▶ 大分県竹田市
- 28 暮らしカレンダー・お慶び・ご寄付
- 30 地産地消クッキング
 - ▶ 根菜の煮物とさんまのソテー
 さわやかフレッシュマン ▶ 山部 雄作さん



11月初旬になると、阿蘇市内の各地で紅葉を楽しむことができます。

県道河陰阿蘇線沿いに位置し豊後街道の一つとして平成25年7月10日に国指定史跡・豊後街道に登録された的石御茶屋跡でも、例年11月初旬から中旬にかけて絶好の見ごろを迎えます。

庭園奥の湧水池付近でも美しい紅葉が見られ、写真愛好家にも人気のスポットとなっています。(写真上)

(写真撮影：平成24年11月8日)

夢を追いかける青少年の声を届けますー

夢を追いかけて

ぼくの夢は獣医です。そのために毎日の勉強ががんばっています。

ぼくは以前、鳥を飼っていましたが、でも寿命で死んでしまいました。その時ぼくは、かわいがっていた鳥が死んで悲しかったです。

だからぼくは、獣医になって動物を助け、たくさん飼育主さんの笑顔を見たいと思います。

みやざき ひかる
宮崎 晃 さん

山田小学校・6年